



猪名川町立松尾台小学校 学校だより

千里同風



令和8(2026)年7月3日号

～ぬちぐすい(命の薬)～

7月に入りました。今月の児童朝会では、「ぬちぐすい」という沖縄の言葉について話をしました。「ぬち」とは、沖縄の方言で「命(いのち)」、「ぐすい」は「薬」のことを指します。「ぬちぐすい(=命の薬)」と書いて、「心や体を元気にしてくれるものなら何でも」そう表現するそうです。命にかかわる薬というよりも心の安らぎを感じたり人の温かさに触れたりすることが、人にとって何よりの薬でなり、心も体も健やかでいられるという意味で使われているのです。命のぬくもり、心と体のつながりなど、沖縄の人々の生き方、風土、文化を知る、深い意味のある言葉の一つに思えてなりません。

子どもたちにはこの言葉を紹介し、普段の生活の中にある「元気になるもの」として、「美しい景色」「山や川、海、そこにいる生き物など自然の恵み」「おいしい食事」「心が軽くなるような音楽」「家族や友だちとの楽しい時間、会話」などの例を挙げて、自分の体や心を元気にさせてくれるもの、あなたの「ぬちぐすい」を見つけてください、と話しました。

～5年生、バケツで稲を育てます！～

理科の「植物の生長」、社会の「農業」の発展学習として、バケツを使って稲の栽培を始めました。今年も園芸ボランティアの中川さんにお世話になりながら、一人一鉢のバケツ稲を育てます。

苗植えの日は雨降りでしたが、理科室前の軒下を使って行いました。苗の束を少しずつ分けて、バケツの土に間隔をあけて植えました。

ひたひたに水を張っていますが、これから根が伸びてしっかりしてきたら水を深さ5センチぐらいまで増やすのだそうです。

植物を育てる体験を通して、稲の生長の様子を知り、食料を得る苦労や達成感など、たくさんの学びがあることを期待したいですね。



～七夕(たなばた)かざりも着々と～

来週7月7日は七夕の日ですね。1年生では笹飾り準備も着々と進んでいました。

ちょうど飾りづくりを覚えた子どもたちが、校長室でもおりがみで作ってくれました。中には、短冊に自分の願いごとまで書いてプレゼントしてくれた子もいましたよ。「おかねもちになれるように」ですって…ほっこり)

学年室で準備中の笹には、一人ひとりの願いごとを書いた短冊もつるしてありました。個人懇談にいらっしゃった方はぜひご覧くださいね。子どもたちの願いごとが実現するように応援したいと思います。

※七夕はその昔中国の習わしが伝わったとされますが、日本の行事とも組み合わせあって、日本古来の行事として広まったともいわれます(諸説あり)。

※東北三大祭りの一つとして有名な「仙台七夕まつり」は、伊達政宗の時代から始まったそうです。

～来週は個人懇談を予定しています～

週明けの月曜日から、個人懇談が始まります。希望制ではありますが、参加される保護者の皆さんと、1学期の生活や学習の成果を担任と一緒に振り返っていただけると、たいへんうれしく思います。この時間が有意義でありますように願っております。よろしくお願いいたします。

毎年この短縮授業に入ると、子どもたちもいよいよ夏休みが間近に感じられるでしょうね。早く帰ってきっと自由な時間が増えて楽しんでくれると思いますが、安全に過ごしてほしいです。

梅雨明けの知らせもまだありませんので、天候は気になりますが、参加の保護者の皆様、お待ちしております。

☆8月のおもな予定☆

11日(火) 山の日

11日(火)～15日(土) 学校施設閉鎖日

20日(木) 人権教育の学習会 13:30～ 夜間中学校の先生のお話

※保護者の方も参加可能です。詳細は改めてお知らせします。

22日(土) 美化作業 8:30～ 終了後に「水浴びん祭」 ※雨天中止

※ぜひご参加ください。詳細は改めてお知らせします。

28日(金) 2学期始業式、 11:40下校

31日(月) 給食開始、 13:30下校